



投資環境

2025年8月13日

楽観ムード強まるなか、日経平均は最高値を更新

□ 米国の金融緩和期待などを背景に金融市場は楽観ムードに

最近の金融市場では、ナスダック総合指数が連日最高値を更新しているほか、米社債と国債の利回り差(米社債スプレッド)が過去1年では最も狭い水準まで縮小し、ビットコインが大幅に上昇するなど、様々な金融資産が買われています(図表1~3)。背景には、米利下げ観測が高まっていることや米国が中国に対する関税引上げを延期したこと、15日に米口首脳会談が開催されることが決まりロシアとウクライナの停戦期待が高まったこと、などが挙げられます。とくに、労働市場の減速を示唆する雇用統計の発表や、利下げに積極的なミラン氏が米連邦準備理事会(FRB)理事に指名されたことを受けて、FRBが年内に0.5~0.75%の利下げを実施するとの期待が高まっており、様々な金融資産の追い風になっているとみられます(図表4)。

図表1. ナスダック総合指数



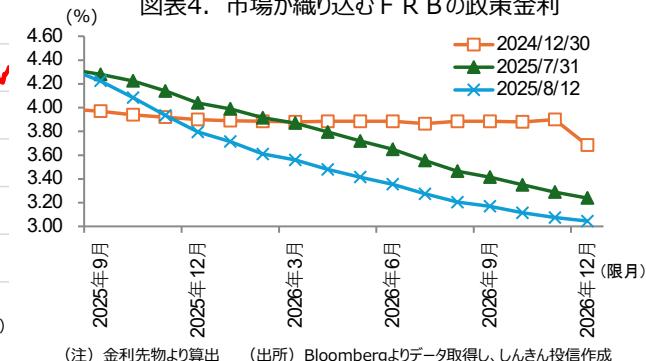
図表2. 米社債スプレッド



図表3. ビットコイン/ドルレート



図表4. 市場が織り込むFRBの政策金利



□ 日経平均株価は史上最高値を更新

日経平均株価は、8月12日に約1年ぶりに史上最高値を更新しました(図表5)。上述のように、市場の楽観ムードが強まる中、日本株にも資金が流入しているとみられます。加えて、以下3点の日本固有の要因も押し上げに作用した可能性があります。

第一に、7月末の金融政策決定会合を受けて、日銀の早期利上げ観測が後退したことです。会合後の記者会見で、植田総裁が「関税政策が経済に及ぼす影響を慎重に見極めたい」との認識を示したことで、会合前に約8割であった年内0.25%の利上げ観測は足元では5割程度まで後退しています。



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

第二に、日本株は他国の株式市場と比べて出遅れ感があることです。年初から、割高感やトランプ大統領の経済政策の不確実性から、欧州株や香港株が相対的に米国株よりも優位な展開が続いてきました。そうしたなか、ドルベースの日本株の年初来の上昇率は、7月末時点では10%以下にとどまっており、20%以上上昇していた欧州株や香港株と比べて出遅れ感があつたため、足元で資金流入が増えている可能性があります(図表6)。

第三に、積極的な財政政策が実施されるとの期待です。8月8日に実施された自民党の両院議員総会で、2027年に予定されている自民党総裁選の前倒しの検討が決まりました。実際に自民党総裁選が前倒しで実施され、高市氏など積極的な財政政策を訴える人物が総裁・総理になった場合、消費税減税などが実施され、国内景気を押し上げるとの期待が高まっているとみられます。

上記3点に加えて、指数の構成割合上位のソフトバンクグループが8月7日の決算で、同社が運営するビジョンファンドの投資利益が拡大し、4-6月期では4期ぶりに黒字転換したと発表することが好感され、決算発表後の株価が15%以上上昇したことも日経平均の押し上げ要因となりました。

今後の日本株は、割高感が意識されると、短期的には調整する恐れがあります。日経平均株価の株価収益率(PER)は8月12日時点で約17.5倍と、過去約10年平均の約15倍よりも高くなっています(図表7)。ただし、足元の水準でも年初来の日経平均株価のドルベースの上昇率は、欧州株や香港株に劣後しており、一段と上昇する展開も想定されます。今後は、国内政治動向や8月下旬に予定されているジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演、半導体大手エヌビディアの決算発表などが注目イベントとなりそうです。

図表5. 日経平均株価

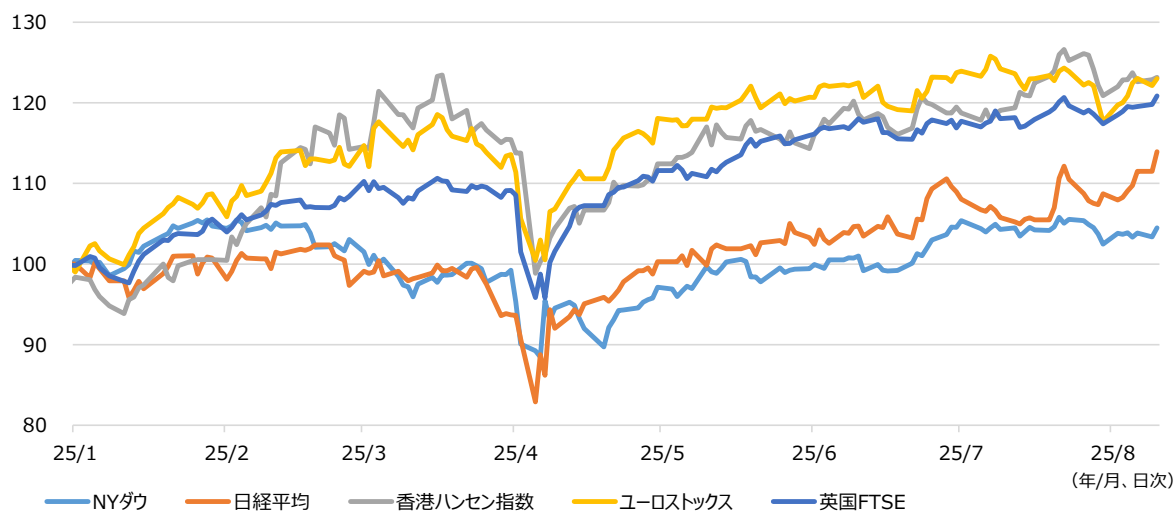




しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

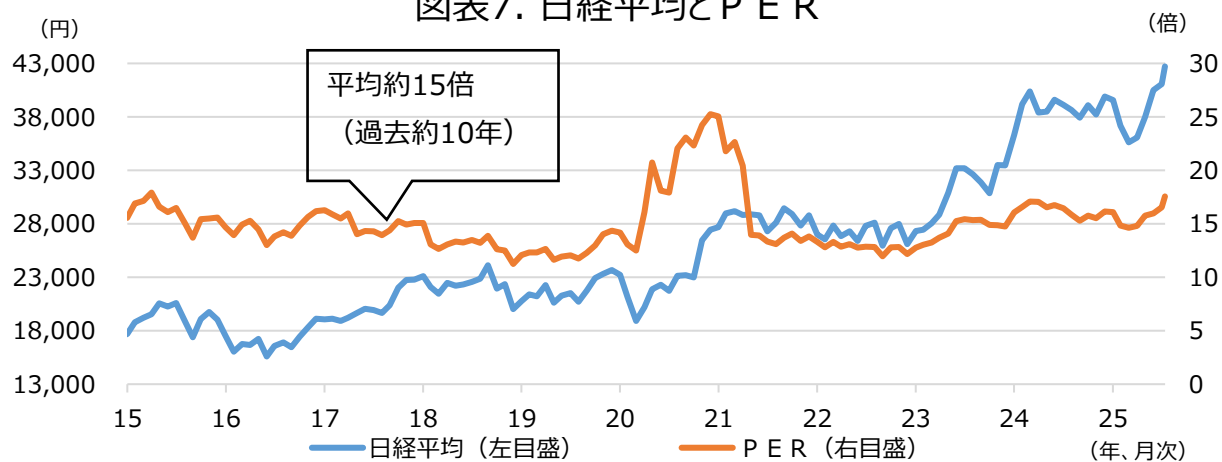
(2024年末=100)

図表6. ドル指数と各国のドルベースの株価



(注) データは25年1月2日～8月12日
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表7. 日経平均とP E R



(注) データは、15年1月から25年8月まで 25年8月は12日時点
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。